



自民党 県会報告

第184号

12月県議会 定例会

会期 12月 5日(火)～
12月19日(火)

本県の未来を形づくり、 復興と地方創生を実現する!

12月定例会は、12月5日から19日までの15日間の日程で開会され、復興・創生の実現に向けて緊急に措置すべき経費などの、平成29年度一般会計補正予算や、県政当面の重要な案件について審議し、条例や意見書など135件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、一般質問4名が登壇し、復興の加速化と、魅力あふれるふるさと福島を創生するための、県の施策についてたどりました。一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。



平成29年度一般会計補正予算(105億4千1百万円)

【主な内容】

- 自由通行が可能となった国道114号における携帯電話不通話区間の解消に向けた支援(1億336万円)
- イノシン被害対策の更なる推進(5,688万円)
- 航空宇宙産業の集積に向けた人材育成や技術力向上の取り組み(2,402万円)
- 外国人観光客の一層の誘客促進(5,380万円)
- 福島空港を発着する国内チャーター便の増便への対応等に要する経費(1,137万円)

自民党議員会が提出し可決した意見書

- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 持続可能な社会保障制度の確立を求める意見書
- 道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

議会の構成が変わりました

県議会の任期の中間を迎え、議会の構成が変わりました。10月臨時会で、新議長に自民党議員会の吉田栄光議員、新副議長には同じく自民党議員会の柳沼純子議員が選任されました。

また、自由民主党福島県議会議員会の会長に斎藤勝利議員、副会長に杉山純一議員、幹事長に太田光秋議員、総務会長に渡辺義信議員、政務調査会長に西山尚利議員がそれぞれ就きました。



▲吉田栄光議長



▲柳沼純子副議長

12月定例会設置の調査特別委員会

避難地域等復興・創生対策特別委員会	委員長 青木 稔議員 副委員長 宮川 政夫議員
健康・文化スポーツ振興対策特別委員会	委員長 満山 喜一議員 副委員長 坂本竜太郎議員
交流人口拡大・過疎地域等振興対策特別委員会	副委員長 佐藤 義憲議員

▲12月定例会では、重要な課題について取り組む、調査特別委員会が設置されました。

新・所属委員会

◎委員長 ○副委員長

常任委員会						議会運営委員会
総務	企画環境	福祉公安	商労文教	農林水産	土木	◎ 勅使河原正之 渡辺 義信 西山 尚利 矢吹 真一 佐藤 雅光 高 宮
◎ 山田平四郎 ○ 高宮光敏 ○ 佐藤 憲保 満山 喜一 長尾トモ子	◎ 鈴木 智 ○ 佐藤 雅裕 ○ 小松山 善継 杉山 純一	○ 佐藤 義憲 太田 光秋 遊 佐久	◎ 矢島 義謙 ○ 坂本竜太郎 ○ 斎藤 健尚 ○ 西山 尚利 ○ 矢吹 真一	◎ 星 公正 ○ 宮川 政夫 ○ 斎藤 義信	◎ 小林 昭一 青木 稔 柳沼 純子 勅使河原正之	

伊達・安達・南会津 3地区に特別支援学校新設! 代表質問(平成29年12月7日)

自民党議員会を代表して、幹事長の太田光秋議員(南相馬市・飯館村選出)が登壇し、代表質問を行いました。

その中で、特別支援教育の環境整備への取り組みについて尋ね、伊達・安達・南会津の3地区に学校を新設する内容の整備計画を策定し、早期設置を目指す方針を教育長が答えました。

自民党議員会がこれまで要望してきた、南会津地方の特別支援教育の拠点としての整備や、伊達・安達地区では通学時間の短縮などが図られ、教育環境の改善が実現されることとなりました。

Q障がいのある方もない方も共に生きる社会を実現すべき

A 内堀知事

障がいの有無にかかわらず、共生する社会の実現を目指すための条例と、手話の普及のための施策を推進することを盛り込んだ条例を、来年中に制定する。

Q県産品の戦略的な輸出促進への取り組みは

A 内堀知事

これまでの、県を挙げた食の安全に対する取り組みが評価され、今年度の農産物の輸出量は、震災前の水準を超え、着実に輸出が拡大しており、更なる販路の開拓・拡大に向け、今年度中に新たな輸出戦略を策定する。



移動政調会を開催し、 地域の課題を聴取 (11月7日～11月29日)

11月7日から29日の日程で県内の各市町村を訪問し、移動政調会を開催しました。

これまで様々な復興事業が進められている一方で、新たな課題や、復興以外の県政に対する要望を聴取いたしました。一つ一つの課題にしっかりと対応し、解決に向けた取り組みを強化してまいります。



▲11月27日 いわき市